

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	18HP2010	事業期間	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
天然薬物に関する優れた研究成果のグローバル情報発信強化		一般社団法人 日本生薬学会	会長・松田 久司
学術刊行物の名称			(略称)
Journal of Natural Medicines			JONM

【令和2(2020)年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
○ A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>Journal of Natural Medicines の国際的地位を確立するために、日本生薬学会は、①質の高い論文掲載、②総説 (Review) 数の倍増化、③論文審査の国際的公平性、④海外での広報活動の強化、⑤オープンアクセス化の支援と制限付きオープンアクセス化の整備の5つの目標を立てている。</p> <p>中間評価時点において、インパクトファクター (IF) は1.982 から2.055 へ上昇しているが、目標値の2.4には遠く及んでおらず、また、総説 (Review) 数についても、本事業の開始前年度である2017年から減少しており、目標の10報には遠く及んでいない。</p> <p>一方で、広報活動については2019年に年2回実施するという目標を到達おり、また、オープンアクセス化論文の件数についても増加していることから、これら取組の進捗状況は良好であると評価できる。</p> <p>なお、事業終了後において、目標とする年間8本のオープンアクセス化を継続するための経費の確保については今後の課題であると考えます。</p>	